

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日 更新

事務事業名		男女共同参画推進啓発誌発行事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部	課長名	財津公正		
	施策	23	人権が尊重される社会づくり				所属課	総務課	担当者名	森田健二 猿渡祥子		
	基本事業	77	男女共同参画社会に対する理解の促進				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217		
予算科目		会計一般	款2	項1	目15	事業連番10908	法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例			成果優先度評価結果	②
											コスト削減優先度評価結果	⑪
終了、開始年度		☒ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・男女共同参画社会を推進するため、啓発のために、市男女共同参画推進懇話会で内容を検討し、事務局で取材・記事を作成して男女共同参画啓発誌を発行する事業である。 ・旧西合志町時代に、男女共同参画啓発情報誌「じりつ」を発行していた。その啓発手法を取り入れ、合志市として合併した後も「いっぽ」を年1回発行して全世帯に配布し啓発の一環としている。 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
【業務の流れ】	①懇話会で内容検討 以下事務局②印刷会社選定、③入札、④印刷会社決定、⑤原稿渡し、⑥校正、⑦印刷、⑧発行、⑨配布(市内全世帯及び男女共同参画啓発行事参加者)
【主な予算費目】	印刷整備費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①懇話会で決定した内容に基づき、男女共同参画推進啓発情報誌「いっぽ」を19,400枚作成した。 ②区長便にて各世帯に配布するほか、男女共同参画啓発行事参加者に配布した。これにより市民に対する啓発が出来た。		前年度と同様(発行部数は世帯数等の変化に応じて調整) 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア 発行部数	部	「男女共同参画まちづくり講座事業」への統合に伴う減。
イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ア 人口(3月末)
		イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
啓発資料を読むことで、男女共同参画の重要性を認識できる。		→ア 質問・問い合わせがあった件数
		イ
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
市民が啓発資料を読み、男女共同参画を理解することが目的である。内容を読み、問い合わせがなかったことで理解されたと確認できる。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
① 活動指標	ア部		19,000	19,200	19,400	19,400	0	0	0	0
② 対象指標	アイ人		57,310	58,237	58,900	59,067	0	0	0	0
③ 成果指標	アイ件		0	0	0	0	0	0	0	0
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	102	101	147	105			
	(A) 事業費計	千円	102	101	147	105	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	3	0	0	0
延べ業務時間		時間	265	255	248	435	0	0	0	0
(B) 人件費計		千円	1,078	1,015	988	1,733	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,180	1,116	1,135	1,838	0	0	0

事務事業名	男女共同参画推進啓発誌発行事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 「男女共同参画まちづくり講座事業」「男女共同参画推進啓発誌発行事業」「男女共同参画推進研修事業」は一体化している事業であり、包括して一事業と捉えることが可能。平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 啓発情報誌発行のみのため、削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 職員以外では出来ない業務なので、削減余地はない。 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とし、効率化を図る。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全世帯配布なので、公平・公正になっている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の責務として啓発活動を行わなければならないため適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

イベントによる啓発活動は参加者が限られるが、区長便で配布する啓発誌の発行は、各世帯に配布するので男女共同参画の推進に大きく寄与するものである。市民に読んでもらい、関心を持ってもらうような工夫を行う。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								